

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,419	16.8	49	66.9	66	46.7	32	51.4
2020年3月期第2四半期	2,907	3.7	150	34.1	124	39.4	67	43.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 86百万円 (247.8%) 2020年3月期第2四半期 24百万円 (86.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	35.06	
2020年3月期第2四半期	72.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,390	4,123	46.8
2020年3月期	8,007	4,116	49.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,931百万円 2020年3月期 3,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		70.00	70.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,080	10.5	70	70.6	80	58.1	20	57.4	21.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,000,000 株	2020年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	66,107 株	2020年3月期	66,107 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	933,893 株	2020年3月期2Q	933,925 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、社会経済活動が停滞し、極めて厳しい状況となりました。また、景気の先行きについても、経済活動の段階的な引き上げや各種政策が施行されておりますものの、感染の収束時期が見込めず、不透明な状況が継続しています。

このような状況の下、当社グループでは昨年度より掲げております経営ビジョン「モノづくりのプロにゆえ、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営目標達成に向け努力してまいりました。そして、コーポレートカルチャーの醸成と経営ビジョンの推進を図り、また、如何なる波にも耐え得る力をつけるため、新たに2020年度経営課題として『業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る』を定め、この課題解決に向けた機能的な組織体制とすべく、2020年4月に組織改革を実施しました。社長室には経営戦略実行の徹底・強化を図るために経営企画担当を設置し、マーケティング本部については「モノづくり事業本部」と改称し、傘下にある「商品部」はこれまでの商品企画部・購買部・特販部門を統合するなど“モノづくり”を一気通貫で推し進めるための組織づくりを実施しました。また、国内・海外の営業をそれぞれの戦略に則り徹底的に進めていくために営業部傘下の海外営業グループを独立させ、「国内営業部」と「海外営業部」を設置しました。また、具体的な課題解決を図るべく各種プロジェクトを立ち上げ、その推進をしてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動停滞影響を受け、売上高は前年同期比16.8%減の24億1千9百万円（前年同期29億7百万円）となり、利益面では営業利益で同66.9%減の4千9百万円（同1億5千万円）、経常利益で同46.7%減の6千6百万円（同1億2千4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同51.4%減の3千2百万円（同6千7百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①金属製品事業

超高速リベティングと軽量ボディを実現させた新型コードレスリベッター「R2B1」や軸の強いソケット「ストロック」などの新商品投入、その他拡販努力による一部の商品や地域について増加がありましたものの、国内、海外売上ともに、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の停滞や営業活動に制限を受けたことを要因として減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比18.0%減の22億9千万円（前年同期27億9千4百万円）となりました。利益面では売上減少に対応した経費節減を行いました。減収影響が大きく、1千7百万円のセグメント損失（同1億円のセグメント利益）となりました。

②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数及びお客様一人当たり売上高は、期初において新型コロナウイルス感染対策として打ち出された外出自粛要請を受けた入場制限や時短営業実施の影響がありましたものの、感染対策を講じた上で営業を継続したことに加え、前年度までに実施してまいりましたサービス向上や集客施策の奏功もあり、前年同期に比べ増加し、売上高は前年同期比14.4%増の1億2千9百万円（前年同期1億1千3百万円）となりました。セグメント利益は増収により、同35.0%増の6千6百万円（同4千9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は83億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千3百万円増加しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比3億9千9百万円増の55億5千6百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金や電子記録債権の減少がありましたものの、現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は同1千6百万円減の28億3千4百万円となりました。これは投資有価証券の時価評価に伴う増加がありましたものの、減価償却による有形固定資産の減少があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比5千万円減の24億1千2百万円となりました。これは主に短期借入金の増加がありましたものの、買掛金や未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は同4億2千6百万円増の18億5千4百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比7百万円増の41億2千3百万円となりました。これは主に配当支出による利益剰余金の減少がありましたが、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加があったことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ5億1千9百万円増加(前年同期1億9千4百万円減少)し、21億9千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加や仕入債務の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上や売上債権の減少などにより、資金が1億2千1百万円増加(前年同期3億9千8百万円増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得を主因に、資金が4千万円減少(前年同期4億2千6百万円減少)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

リース債務の返済や配当金の支払などがありましたが、借入金収入により資金が4億3千9百万円増加(前年同期1億6千5百万円減少)しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、本日、別途開示しました「通期連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,000,937	2,520,880
受取手形及び売掛金	1,166,296	964,499
電子記録債権	152,302	134,964
商品及び製品	1,235,589	1,318,468
仕掛品	314,563	330,119
原材料及び貯蔵品	220,086	232,698
その他	72,388	59,981
貸倒引当金	△5,514	△5,028
流動資産合計	5,156,650	5,556,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	949,947	930,705
土地	673,026	673,026
その他(純額)	529,583	484,458
有形固定資産合計	2,152,557	2,088,190
無形固定資産	55,901	53,383
投資その他の資産	642,059	692,519
固定資産合計	2,850,518	2,834,092
資産合計	8,007,169	8,390,676

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	298,788	181,190
短期借入金	1,604,670	1,714,150
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	36,139	28,890
その他	462,642	428,002
流動負債合計	2,462,240	2,412,233
固定負債		
社債	90,000	60,000
長期借入金	1,027,440	1,518,344
退職給付に係る負債	72,699	74,749
その他	237,953	201,458
固定負債合計	1,428,093	1,854,551
負債合計	3,890,333	4,266,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,486,445	2,453,817
自己株式	△164,084	△164,084
株主資本合計	3,773,406	3,740,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,227	190,237
その他の包括利益累計額合計	146,227	190,237
非支配株主持分	197,201	192,875
純資産合計	4,116,835	4,123,891
負債純資産合計	8,007,169	8,390,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	2,907,952	2,419,788
売上原価	1,868,412	1,598,096
売上総利益	1,039,540	821,691
販売費及び一般管理費	889,424	772,056
営業利益	150,116	49,634
営業外収益		
受取配当金	8,549	6,794
受取家賃	4,746	2,052
助成金収入	-	39,509
その他	4,021	3,309
営業外収益合計	17,317	51,666
営業外費用		
支払利息	16,100	14,896
売上割引	23,194	19,653
その他	3,869	498
営業外費用合計	43,164	35,048
経常利益	124,269	66,252
税金等調整前四半期純利益	124,269	66,252
法人税等	46,358	23,669
四半期純利益	77,910	42,582
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,484	9,838
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,426	32,744

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	77,910	42,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,061	43,845
その他の包括利益合計	△53,061	43,845
四半期包括利益	24,848	86,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,131	76,754
非支配株主に係る四半期包括利益	9,716	9,674

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	124,269	66,252
減価償却費	108,092	103,743
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△948	△547
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,028	2,050
受取利息及び受取配当金	△8,583	△6,825
支払利息	16,100	14,896
助成金収入	-	△39,509
為替差損益 (△は益)	284	435
売上債権の増減額 (△は増加)	133,645	219,135
たな卸資産の増減額 (△は増加)	20,379	△111,045
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,393	△117,598
その他の資産の増減額 (△は増加)	41,390	6,601
その他の負債の増減額 (△は減少)	△46,655	△20,127
小計	438,396	117,460
利息及び配当金の受取額	8,587	6,826
利息の支払額	△17,243	△15,518
助成金の受取額	-	32,259
法人税等の支払額	△32,830	△30,391
法人税等の還付額	1,594	10,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	398,504	121,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,600
定期預金の払戻による収入	-	276,600
有形固定資産の取得による支出	△146,540	△41,162
無形固定資産の売却による収入	-	3,000
投資有価証券の取得による支出	△3,967	△3,007
その他	361	526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426,747	△40,643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	43,334	△60,000
長期借入れによる収入	250,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△272,809	△339,616
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△76,945	△51,069
配当金の支払額	△65,374	△65,372
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	△14,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,795	439,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	△284	△435
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△194,322	519,942
現金及び現金同等物の期首残高	2,023,590	1,674,337
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,829,268	2,194,280

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,794,795	113,157	2,907,952	—	2,907,952	2,907,952
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,794,795	113,157	2,907,952	—	2,907,952	2,907,952
セグメント利益	100,599	49,517	150,116	—	150,116	150,116

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,290,382	129,405	2,419,788	—	2,419,788	2,419,788
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,290,382	129,405	2,419,788	—	2,419,788	2,419,788
セグメント利益又は 損失(△)	△17,226	66,861	49,634	—	49,634	49,634

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。